

# 主日礼拝

2025 年 09 月 21 日  
午前 10 時 30 分

前奏 「イエス・キリスト我らと共に」  
(S.カルク・エラート)

参集 (報告・紹介・予定)

## 招詞

「希望はわたしたちを欺くことはありません。  
わたしたちに与えられた聖霊によって、  
神の愛がわたしたちの心に注がれているからです。」  
(ローマの信徒への手紙 5:5)

## 頌栄 24 「たたえよ、主の民」

たたえよ、主のたみ、みつかいととも、  
めぐみにあふれるちち・せいれいを。  
アーメン。

## 交読詩編 147 : 1~7

一緒に：ハレルヤ。

司式者：わたしたちの神をほめ歌うのは  
いかに喜ばしく

会衆：神への賛美はいかに美しく快<sup>こころよ</sup>いことか。

司式者：主はエルサレムを再建し  
イスラエルの追いやられた人々を集めて  
くださる。

会衆：打ち砕かれた心の人々を癒<sup>いや</sup>し  
その傷を包んでくださる。

司式者：主は星に数を定め  
それぞれに呼び名をお与えになる。

会衆：わたしたちの主は大いなる方、御力<sup>みちから</sup>は強く  
英知<sup>みわざ</sup>の御業は数知れない。

司式者：主は貧しい人々を励まし

会衆：逆らう者を地に倒される。

司式者：感謝の献げ物をささげて主に歌え。

会衆：豎琴<sup>たてごと</sup>に合わせてわたしたちの神に  
ほめ歌をうたえ。

## 賛美 7-4,5 「ほめたたえよ、力強き主を」

Lobe den Herren, den mächtigen König  
詞：Joachim Neander, 1650-1680

LOBE DEN HERREN  
曲：Erneuertem Gesangbuch, 1665

4 ほめたたえよ、めぐみふかき主を。 5 ほめたたえよ、ひかりのみかみを。  
いのちの雨、上より注がれ、 生けるものよ、そのみ名たたえよ。  
つきせぬ そのいつくしみ 恵みを とわに忘れず、  
ここに現れぬ。 共に歌え、アーメン。

## 祈禱

## 献金

## 主の祈り

天にまします我らの父よ、  
ねがわくは み名をあがめさせたまえ。  
み国を来らせたまえ。  
みこころの天になるごとく  
地にもなさせたまえ。  
我らの日用の糧を、今日も与えたまえ。  
我らに罪をおかす者を我らがゆるすごとく、  
我らの罪をもゆるしたまえ。  
我らをこころみにあわせず、  
悪より救い出したまえ。  
国とちからと栄えとは限りなくなんじのもの  
なればなり。  
アーメン。

## 賛美 32 「キリエ・エレイソン」

キリエ・エレイソン、キリエ・エレイソン、  
主よ、あわれみ。 主よ、あわれみ。  
キリエ・エレイソン、  
主よ、あわれみ。

キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン キリエ・エレイソン  
主よ、あわれみを 主よ、あわれみを 主よ、あわれみを

# 聖書 マタイによる福音書 18:10~20

新約(新共同訳)P35

10「これらの小さな者を一人でも軽んじないように気をつけなさい。言うておくが、彼らの天使たちは天でいつもわたしの天の父の御顔を仰いでいるのである。 11+

12あなたがたはどう思うか。ある人が羊を百匹持っていて、その一匹が迷い出たとすれば、九十九匹を山に残しておいて、迷い出た一匹を捜しに行かないだろうか。 13はっきり言うておくが、もし、それを見つけたら、迷わずにいた九十九匹より、その一匹のことを喜ぶだろう。 14そのように、これらの小さな者が一人でも滅びることは、あなたがたの天の父の御心ではない。」

15「兄弟があなたに対して罪を犯したなら、行って二人だけのところで忠告しなさい。言うておくを聞き入れたら、兄弟を得たことになる。 16聞き入れなければ、ほかに一人か二人、一緒に連れて行きなさい。すべてのことが、二人または三人の証人の口によって確定されるようになるためである。 17それでも聞き入れなければ、教会に申し出なさい。教会の言うておくも聞き入れないなら、その人を異邦人が徴税人と同様に見なさい。

18はっきり言うておく。あなたがたが地上でつなぐことは、天上でもつなぐれ、あなたがたが地上で解くことは、天上でも解かれる。 19また、はっきり言うておくが、どんな願い事であれ、あなたがたのうち二人が地上で心を一つにして求めるなら、わたしの天の父はそれをかなえてくださる。 20二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいるのである。」

## 賛美 411 「うたがい迷いの」

Gjennem Nat og Trængsel  
詞：Bernhardt S. Ingemann, 1789—1862

ST. ASAPH  
曲：William S. Bambridge, 1842—1923

うたがい まよいの やみよをついて、  
おそれず ひるまず われらはすすむ。  
ゆくてにかがやく ひかりをあおぎ、  
手をとりはげまし よろこびすすむ。

- |  |   |
|--|---|
| 1 うたがい迷いの闇夜をついて、<br>おそれずひるまず われらはすすむ。<br>行く手にかがやく 光をあおぎ、<br>手をとりはげまし 喜び進む。 | 3 ひとりのキリスト わが主とあおぎ、<br>うれいなやみも たがいに背負い<br>ひとつのたたかい 共に苦しみ、<br>ひとつのさんびを 喜び歌う。 |
| 2 ひとつの聖霊 われらを結び、<br>ひとつの生命が われらを生かす。<br>ひとつの杯、ひとつのパンを<br>分け合い、あずかり、新たにされる。 | 4 兄弟姉妹よ、十字架を担い、<br>主イエスに従い み跡をたどれ。<br>この世の旅路を 終える時まで、<br>生命のかんむりを 目指して進め。   |

# 説教 「イエスさまがおられる教会」

## 賛美 416 「神の民は」

Aan wat op aarde leeft  
詞：Huub Oosterhuis, 1933—

SAME BREAD  
曲：オランダ民謡

1 かみ - の た - み は 主 の み か - て に  
2 か み - の た - み は 主 の 十 字 - 架 に  
3 か み - の た - み は 主 の へ い - わ に  
ひ と - し く - み な や し な わ れ て、  
ひ と - し く - み な あ が な わ れ て、  
ひ と - し く - み な み ち び か れ て、  
せ い れ い に よ - り 主 の ま ね き を  
ま - ご こ ろ も て 主 に し た が い、  
へ - だ て の か - べ う ち く だ か れ、  
と も に う け る な か ま と - な る。  
と も に あ ゆ む な か ま と - な る。  
み む ね の ま ま ひ と つ と - な る。

- |  |   |
|--|---|
| 1 神の民は 主のみ糧に<br>ひとしくみな やしなわれて、<br>聖霊により 主のまねきを<br>ともに受ける 仲間となる。    | 2 神の民は 主の十字架に<br>ひとしくみな あがなわれて、<br>まごころもて 主にしたい、<br>ともにあゆむ 仲間となる。 |
| 3 神の民は 主の平和に<br>ひとしくみな みちびかれて、<br>へだてのかべ うちくだかれ、<br>みむねのまま ひとつとなる。 |   |

## 派遣

司式者 主は言われます。  
「わたしは誰を遣わすべきか。」  
会衆 わたしがここにおります。  
わたしを遣わして下さい。

## 祝禱

## アーメン

ア - メ ン。 ア - メ ン。 ア - メ ン。

## 後奏 「我らみな一なる神を信ず」

(J.S.バッハ)

司 式：喜多村 文子  
説 教：向井 希夫牧師  
奏 楽：玉理 照子

※お立ちになるのが困難な方は、座ったままで礼拝をお守り下さい。